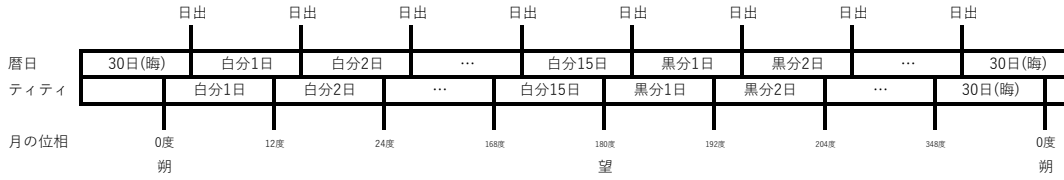
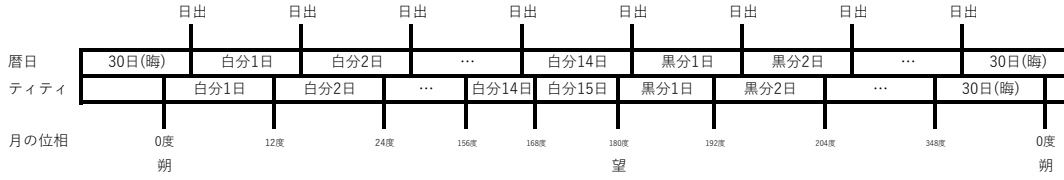


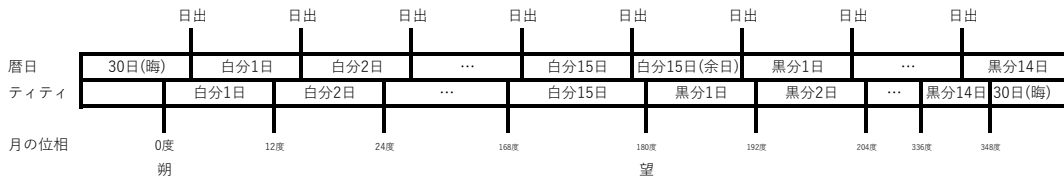
ティティ(太陰日)は月の位相が12度の倍数になる瞬間にかわる → ティティ(太陰日)に欠落や重複はなく必ず、白分1日～15日、黒分1日～黒分14日、30日(晦)が存在する。
 暦日(太陽日)は日の出の瞬間にかわり、その瞬間を含むティティの名称を暦日の名称とする → 暦日(太陽日)は名称に欠落や重複が起こることがある。



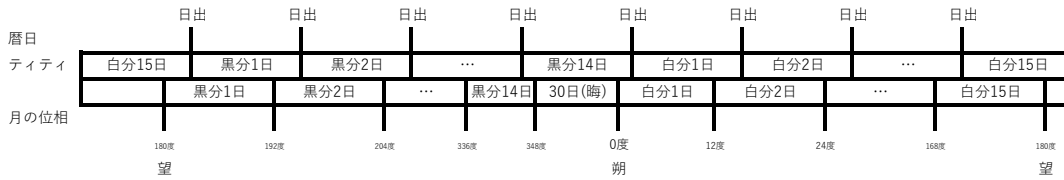
朔は暦日の30日(晦)にある
 望は暦日の白分15日にある



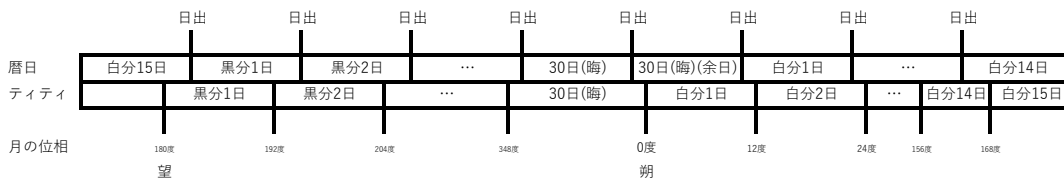
ティティ(太陰日)の白分15日は日の出の瞬間を含まないので暦日(太陽日)の白分15日は存在しない(欠日)
 望は暦日の白分14日にある



ティティ(太陰日)の白分15日は日の出の瞬間を2度含むので暦日(太陽日)の白分15日が重複する(余日)
 望は暦日の白分15日(余日)にある



ティティ(太陰日)の30日(晦)は日の出の瞬間を含まないので暦日(太陽日)の30日(晦)は存在しない(欠日)
 朔は暦日の黒分14日にある



ティティ(太陰日)の30日(晦)は日の出の瞬間を2度含むので暦日(太陽日)の30日(晦)が重複する(余日)
 朔は暦日の30日(晦)(余日)にある